

2022

3月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



th

Choshi Shinkin Bank



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	24	4
今後3か月程度の見通し	1	22	5

【漁業】

銚子港の令和4年2月の総水揚げ数量は32,973トンで、前月比+3,433トン、前年同月比▲12,100トンとなった。総水揚げ金額は2,050百万円で、前月比▲1,791百万円、前年同月比▲1,886百万円となった。

【農業】

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。

キュウリ(等級:秀) 1本当たり 高値 40円(前月比 ▲10円)安値 15円(前月比 +5円)

トマト (LMサイズ)4kg当たり 高値1,300円(前月比+300円)安値500円(前月比+200円)

原油高騰の影響により生産を縮小している農家が増え供給量減少。需要も依然として低調であり相場は低迷している。

【商業】

旭市の県立旭農業高校で飼育された豚を使ったレトルトカレー「旭農ポークカレー」が完成した。市内の食肉加工会社である東総食肉センターと同校が連携して開発し、市内の道の駅「季楽里あさひ」にて2月19日から、1箱500円で販売開始。高校生が育てた良質な豚肉を広く知ってもらい、生徒の意欲向上やブランド化などを図る狙い。

4回の試作を重ねたレシピは「旭農高のお肉をPRしたい」と、具材の肉の大きさや分量を調整した。パッケージデザインにも生徒が関わり、食品科学科の生徒の作品を基に作った。ジャガイモやニンジンなどの野菜は県産を使用している。

【観光業】

成田市の成田山新勝寺で、2月3日に恒例の節分会(せつぶんえ)が行われた。2年ぶりに歌舞伎俳優の市川海老蔵さんや大相撲の力士が参加し、信徒らとともに新型コロナウイルス収束や五穀豊穡を願って豆をまいた。感染対策のため、昨年同様に特設舞台を設けずに規模を大幅縮小して開催した。

コロナ対策のため、参拝客が受け取れる袋入りの豆まきは見送った。全3回の豆まきで使う大豆は例年の重さ860キロから280キロに減らし、まく時間も数分に短縮した。例年は境内からあふれるほどの参拝客が集まるが、数百人規模の観覧ブースに収まった。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和4年2月の総水揚げ数量は32,973トンで、前月比+3,433トン、前年同月比▲12,100トンとなった。総水揚げ金額は2,050百万円で、前月比▲1,791百万円、前年同月比▲1,886百万円となった。

勝浦港の令和4年2月の総水揚げ数量は193トンで、前月比+37トン、前年同月比▲493トンとなった。総水揚げ金額は126百万円で、前月比▲30百万円、前年同月比▲133百万円となった。

波崎の巻き網船団は、近海でサバ、イワシの操業。稼働日数は6日（前年同月比▲2日）。前年同月対比で数量・金額共に減少し、時化が多かったことと、サバ漁においてイワシ混じりが多いことが要因となった。前月比ではイワシ混じりのため数量は増加するも金額は低調となる。サバの魚体は小さいが同種のものが前年比2割程度高く取引された。

生鮮食料品の輸出に必要な手続きがすべて市場内で完結（ワンストップ輸出機能）する全国で初めての卸売市場として、新生成田市場（正式名：成田市公設地方卸売市場）が、日本最大の国際空港である成田空港の隣接地に開場した。成田市とその周辺の商圏への生鮮食料品の安定供給と共に、国が強力に推進する農林水産物・食品の輸出額5兆円目標の達成を加速化させる重要な拠点としての役割が期待されている。

銚子魚市場水揚げ

銚子市漁業協同組合調べ

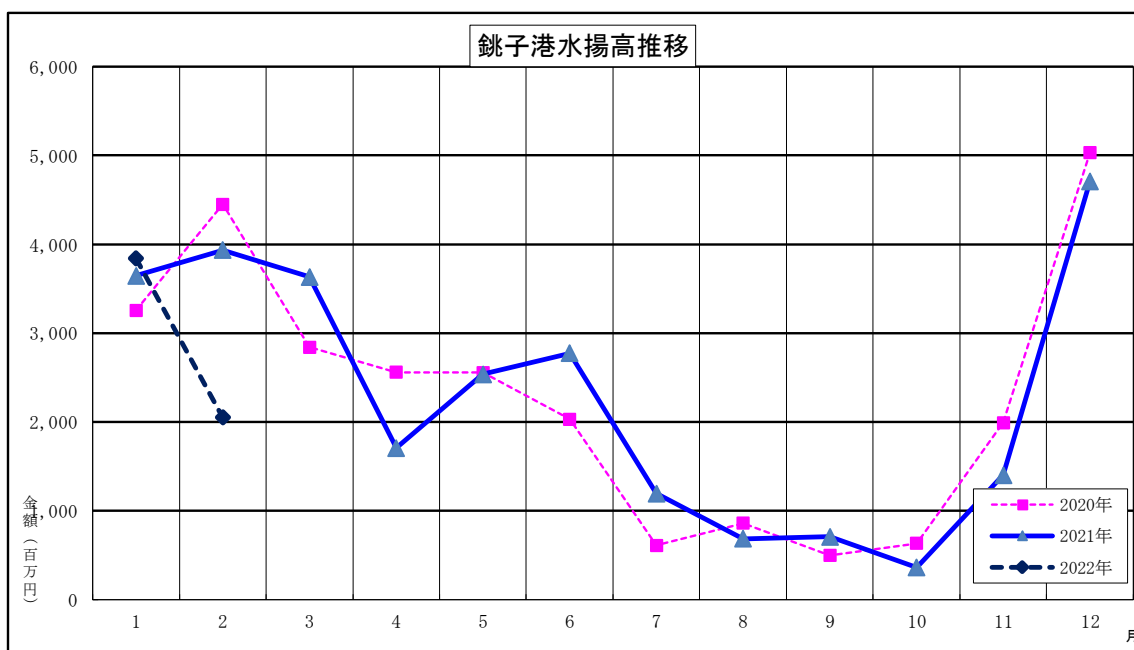
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		2022年2月	前年同月	前年同月比	2022年2月	前年同月	前年同月比
鰯		29,430	21,634	7,796	1,157,945	958,523	199,422
鯖		2,574	21,561	▲ 18,987	260,585	2,226,622	▲ 1,966,037
鰯		0	0	0	0	0	0
鰹・鯖		430	809	▲ 379	296,198	355,002	▲ 58,804
(内鰹一本釣)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		173	187	▲ 14	122,305	137,570	▲ 15,265
その他		366	882	▲ 516	213,064	258,330	▲ 45,266
合計		32,973	45,073	▲ 12,100	2,050,097	3,936,047	▲ 1,885,950

前月比	数量	111.62%
	金額	53.38%
前年同月比	数量	73.15%
	金額	52.09%

水揚げ日数



	2022年2月	2022年1月	2021年2月
鰯	10日	9日	12日
鯖	6日	8日	14日
鰯	0日	0日	0日
鰹・鯖	19日	18日	22日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	17日	17日	16日
その他	22日	23日	21日



■ 農 業

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ（等級：秀） 1本当たり 高値 40円（前月比 ▲10円）安値 15円（前月比 +5円）
 トマト（LMサイズ）4kg当たり 高値1,300円（前月比+300円）安値500円（前月比+200円）
 原油高騰の影響により生産を縮小している農家が増え供給量減少。需要も依然として低調であり相場は低迷している。

横芝光町特産のひかりねぎの相場は1箱（5.5kg）上 2,617円、下 1,153円で取引された。降雪に伴う不良のため深谷ネギの流通量が少なく、価格は値上がり傾向に推移。

銚子地区のキャベツ・青首大根の価格相場は、以下の通り。
 キャベツ 買値600円、売値900円 / 青首大根 買値1,000円、売値1,400円
 まん延防止等重点措置期間中であるため、大根は安値にて推移。キャベツに関しては例年通りに推移となる。

■ 商 業

旭市の県立旭農業高校で飼育された豚を使ったレトルトカレー「旭農ポークカレー」が完成した。市内の食肉加工会社である東総食肉センターと同校が連携して開発し、市内の道の駅「季楽里あさひ」にて2月19日から、1箱500円で販売開始。高校生が育てた良質な豚肉を広く知ってもらい、生徒の意欲向上やブランド化などを図る狙い。

4回の試作を重ねたレシピは「旭農高のお肉をPRしたい」と、具材の肉の大きさや分量を調整した。パッケージデザインにも生徒が関わり、食品科学科の生徒の作品を基に作った。ジャガイモやニンジンなどの野菜は県産を使用している。

銚子市のヤマサ醤油は、コロナ禍で休止中の工場見学センターで扱ってきた濃い口しょうゆ「ソヤノワール」の販売を市内の店舗でも始めた。少量でも料理の味わいを引き立ててくれるという「特別なしょうゆ」をPRしている。

同社によると、工場見学センターと同社通販サイトでのみ販売する人気商品だが、2020年3月以降は工場見学の休止が続く。そこで市内での販売を解禁し、観光施設やホテルなど計4店舗で購入できるようになった。

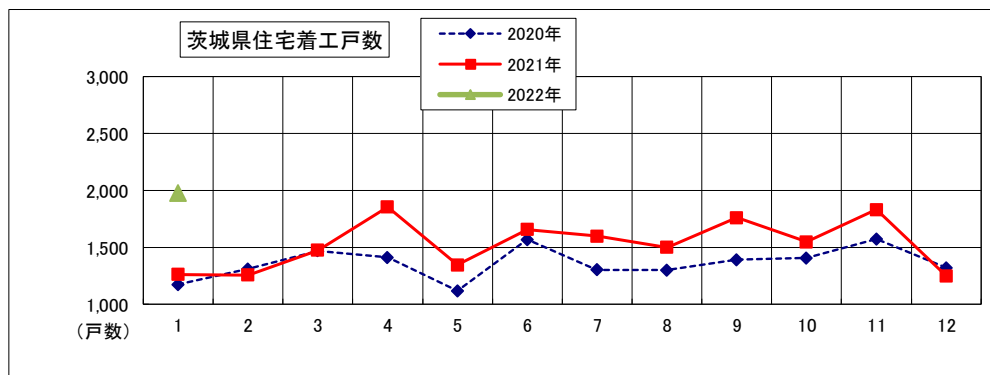
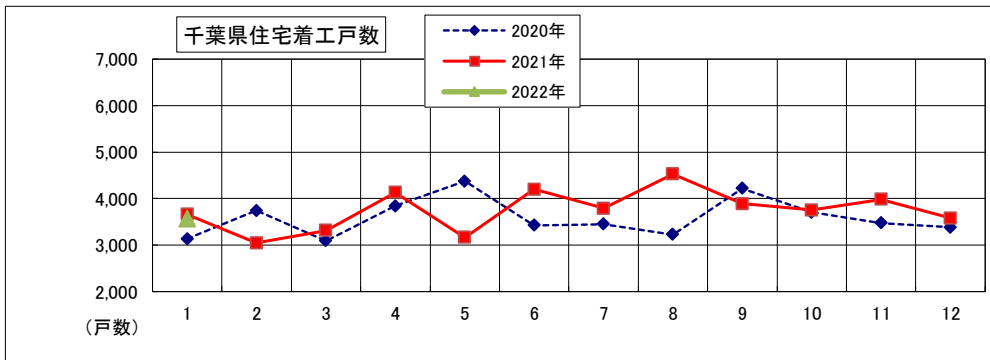
特徴は一般の濃い口しょうゆの1.5倍以上も含まれるうま味成分と、調理法によって変わる豊かな香り。味の強い素材や焼肉などに合うという。もともと工場見学センターで販売する焼きそばの調理に使われ、反響を受け2017年に商品化した。

■ 建設業

令和4年1月の住宅着工戸数は、千葉県で3,561戸と前年同月比97.3%（▲100戸）、茨城県では1,975戸で前年同月比156.6%（+714戸）となった。前月（令和3年12月）比では、千葉県で▲19戸、茨城県では+726戸となった。

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2022年1月	前月戸数	増減
千葉県	3,561	3,580	▲19
茨城県	1,975	1,249	726



国土交通省統計情報より

■ 観光業

成田市の成田山新勝寺で、2月3日に恒例の節分会（せつぶんえ）が行われた。2年ぶりに歌舞伎俳優の市川海老蔵さんや大相撲の力士が参加し、信徒らとともに新型コロナウイルス収束や五穀豊穡を願って豆をまいた。感染対策のため、昨年同様に特設舞台を設けずに規模を大幅縮小して開催した。

コロナ対策のため、参拝客が受け取れる袋入りの豆まきは見送った。全3回の豆まきで使う大豆は例年の重さ860キロから280キロに減らし、まく時間も数分に短縮した。例年は境内からあふれるほどの参拝客が集まるが、数百人規模の観覧ブースに収まった。

東金市にある明治期に建てられた東金市の国登録有形文化財「八鶴館」で、「八鶴館のひな祭り展」が3月5日まで開催された。約300体のひな人形が歴史のある館内で展示された。

同館は1885年に旅館として開業。桜の名所である八鶴湖のほとりに位置し、歴史ある旅館として東金の名所となっていたが、宿泊客減少と建物老朽化で2006年に閉館した。

昨年に発足し、同館の保存維持活動を行う市民グループ「みんなの八鶴館」のメンバーらが協力し、周辺住民が使用しなくなり譲り受けたひな人形を一体ずつ掃除や修理をして並べた。同会代表は「ひな人形を丁寧に展示した。由緒ある八鶴館を見て、同時に湖畔の風情も楽しんでほしい」と話した。

■ 不動産業

千葉市では、商品物件が少なく、仕入が難しくなっているが、新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの普及やワークスタイルの変化により、住宅需要が高まっており、仕入後短期間(半年以内)で販売しているケースが多くなっている。

茂原市では、コロナ禍で引き続き東京より1時間程度で広い中古物件の相談は続いている。一宮町付近の引合いも続いているが物件が少なく、周辺の長生村やいすみ市近辺まで探しているが、既に業者に買い占められている状態。ただし、ウクライナ情勢により消費意識が減退した様子。

■ 養豚業・畜産業

令和4年2月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は511円/kgとなり、前月比+6円/kg、前年同月比で+12円/kgとなった。

鶏卵(Mサイズ)卸売価格は175円/kgとなり、前月比+24円/kg、前年同月比で▲8円/kgとなった。

独) 農畜産業振興機構 / J A全農たまご(株) 統計情報より

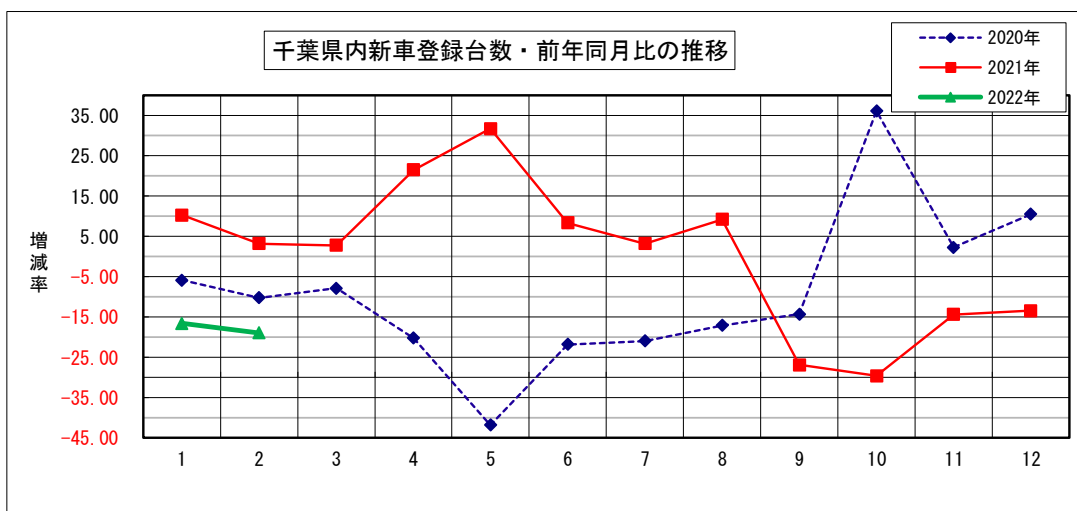
■ 自動車ディーラー

令和4年2月における千葉県内の登録車新車販売台数(軽自動車除く)は前年同月比19.0%減の10,130台(前年同月12,506台)と、6カ月連続で前年実績を下回った。

占拠率は1位がトヨタ(40.2%)、2位はホンダ(13.2%)、3位は日産(11.9%)となった。

千葉県内新車登録台数状況(軽自動車を除く)

		2022年2月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,144	5,232	98.32%	6,497	79.18%
	小型	3,518	3,243	108.48%	4,162	84.53%
	小計	8,662	8,475	102.21%	10,659	81.26%
貨物	普通	520	409	127.14%	647	80.37%
	小型	637	633	100.63%	799	79.72%
	小計	1,157	1,042	111.04%	1,446	80.01%
特殊等	特殊	297	219	135.62%	365	81.37%
	バス	14	19	73.68%	36	38.89%
	小計	311	238	130.67%	401	77.56%
総合計		10,130	9,755	103.84%	12,506	81.00%



一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2022年1月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.89	0.87	0.02	0.86	0.03
茂原公共職業安定所管内	0.94	0.97	▲ 0.03	1.06	▲ 0.12
いすみ公共職業安定所管内	0.93	1.10	▲ 0.17	0.93	0.00
成田公共職業安定所管内	0.82	0.82	0.00	0.83	▲ 0.01
佐原公共職業安定所管内	0.88	0.83	0.05	0.78	0.10
千葉県	0.95	0.93	0.02	0.94	0.01

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和4年2月度】

2022年(令和4年)2月度の企業倒産件数は16件、前月比2件増(11.1%)、前年同月比では増減なしで、平成以降の2月単月では2021年(令和3年)の16件と並び4番目に少ない件数となった。

産業別では『サービス業他』が6件(構成比37.5%)で最多、次いで『建設業』と『小売業』の各3件(構成比各18.8%)となった。

資本金別では『300万円以上(1000万円未満)』が8件(構成比50.0%)、『1000万円以上(3000万円未満)』が6件(構成比37.5%)となった。

従業員数別では『5名未満』が13件(構成比81.3%)で最多となり、これまで同様、小規模事業者の倒産が目立った。

原因別では『業績不振』が14件(構成比87.5%)で最多となった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナ関連倒産」については5件(弁護士一任状態の経営破綻を含めると6件)発生した。

倒産形態別では『破産』が15件(構成比93.8%)となり、再生型の法的手続きは発生しなかった。

依然としてコロナ禍の収束見通しは立たないものの、感染症対策を徹底したうえで企業活動を維持してきたことに加え、ゼロゼロ融資(実質無担保無利息融資)に代表される資金繰り支援のほか、事業再構築補助金、事業復活支援金など様々な支援制度が企業の手元資金を補完。さらに過剰債務に陥った企業に対する返済猶予やリスク対応、資本性ローンの活用など金融機関による弾力的かつ継続的な支援が倒産抑制に大きな効果を発揮している。ただ、2月の新型コロナウイルス関連倒産については5件で、1月の3件から2件増加。倒産全体に占める新型コロナウイルス関連倒産は31.3%に達し、コロナ禍前から苦戦が続いていた企業の息切れによる倒産が目立った。

さらに、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりするなか、全国各地に適用した「まん延防止等重点措置」は3月以降も延長が決まっている。家庭内感染や職場でのクラスターなども相次ぎ、濃厚接触者の増加とともに企業活動にも一定の影響が出始めている。

需給バランスの崩れから生じた半導体不足、サプライチェーンの混乱に起因する部品・部材等の調達難、原材料・エネルギーコストの上昇なども解消の見通しが立たず、サービス業以外の業界でも経営環境は着実に厳しさを増している。加えて、ロシアによるウクライナへの武力侵攻が本格化したことで、今後はエネルギーコストや小麦など農産物価格のさらなる高騰も懸念される。

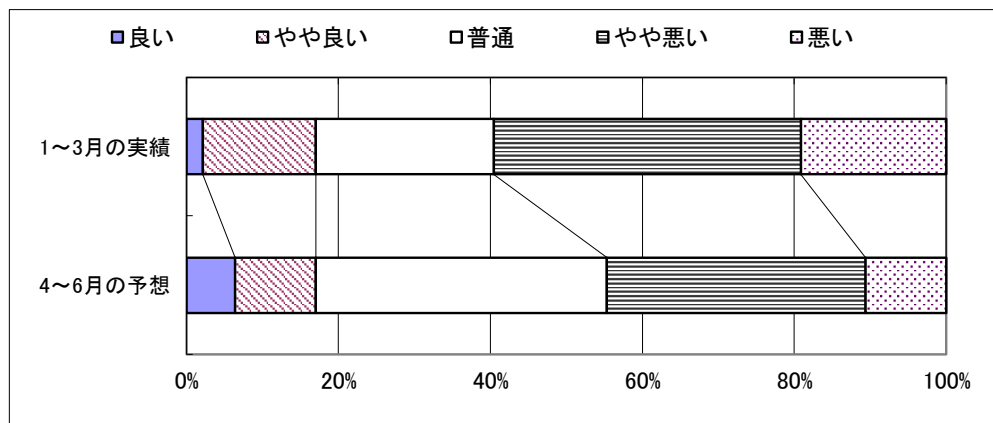
全国的に企業倒産は歴史的な低水準で推移しており、現状水準の資金繰り支援が継続される限り、3月以降も企業倒産が大幅に増加することは考えづらい。ただ、資金繰り支援の副作用として深刻化している過剰債務問題のほか、コロナ罹患や濃厚接触者等による従業員の欠勤増、外国人労働者の入国制限による人手不足なども深刻さを増しており、資金面以外にも解決の難しい課題が山積している。当面、コロナ禍の収束が期待できないのであれば、今後は事業継続を前提とした支援以外にM&Aによる事業売却、事業再生支援、廃業支援などの強化も必要となってくるであろう。

(株)東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

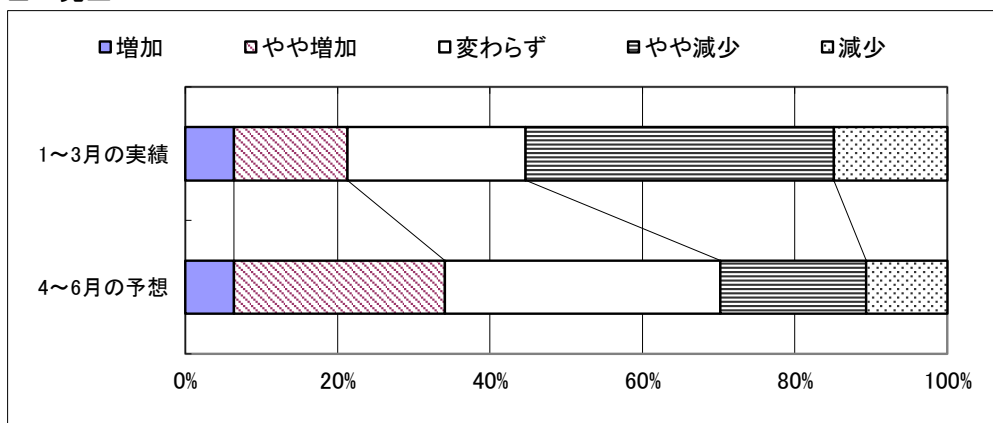
特集 第187回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客47先で、内訳は製造業18先、卸売業8先、小売業7先、サービス業4先、建設業6先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は3月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

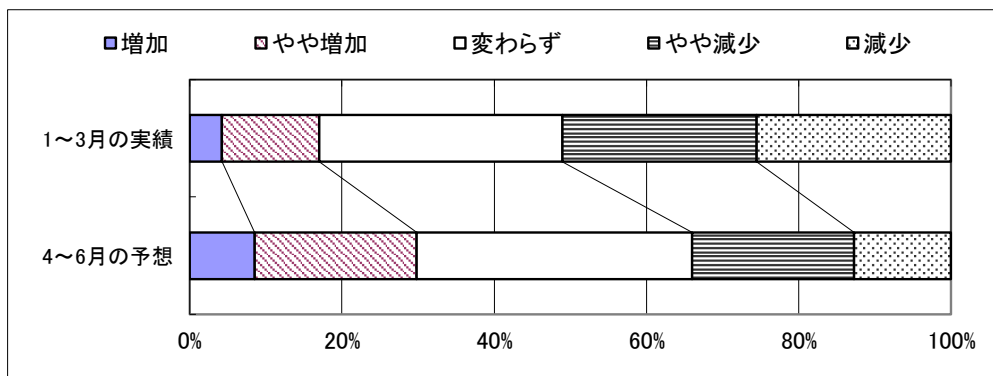
■ 業況



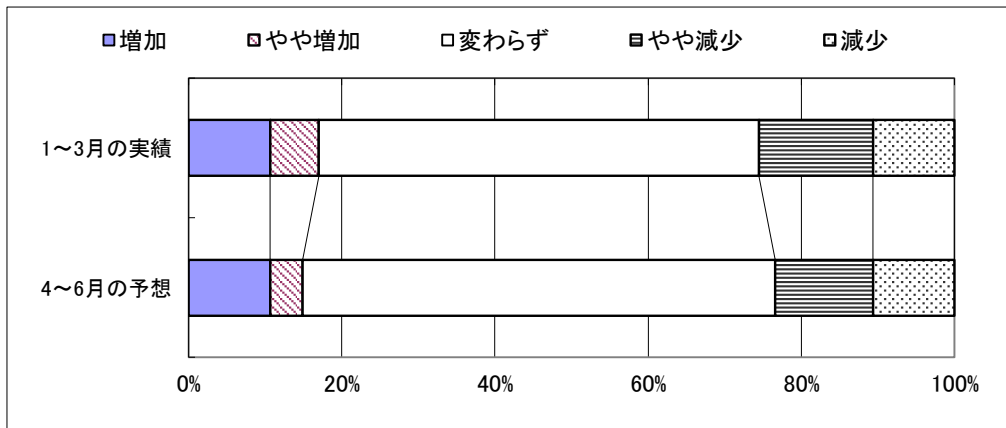
■ 売上



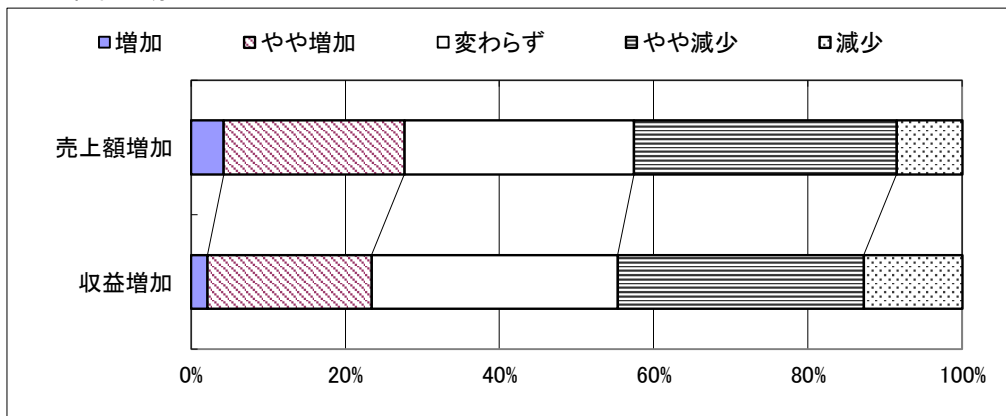
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



経営上の問題点 (業種別上位項目)

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 原材料高 ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 工場・機械の狭小・老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 取引先の減少 ■ 利幅の縮小 ■ 仕入先からの値上げ要請 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 利幅の縮小 ■ 人件費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 材料価格の上昇 ■ 合理化の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 材料価格の上昇 ■ 人手不足 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 下請けの確保難 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同業者間の競争の激化 ■ 利幅の縮小 ■ 売上の停滞・減少 ■ 大手企業との競争の激化

当面の重点経営施策 (業種別上位項目)

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 販路を広げる ■ 人材を確保する ■ 新製品・技術を開発する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 販路を広げる ■ 情報力を強化する ■ 人材を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売れ筋商品を取扱う ■ 品揃えを改善する ■ 経費を節減する ■ 仕入先を開拓・選別する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 新しい事業を始める ■ 人材を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術力を高める ■ 人材を確保する ■ 情報力を強化する ■ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 販路を広げる ■ 宣伝・広告を強化する ■ 情報力を強化する

銚子市
銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちょうしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちょうしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

今年度の経営相談会は終了いたしました。
来年度の日程につきましては、決定次第ホームページ等でお知らせいたします。

事業承継に関する個別相談会

今年度の事業承継相談会は終了いたしました。
来年度の日程につきましては、決定次第ホームページ等でお知らせいたします。